

政 務 活 動 費 支 出 伝 票

備考欄

タウンニュース 10月5日号 (株)タウンニュース社
振込手数料440円



県政報告

まっとうな政治を今こそ!

プロフィール

小田原生まれ・小田原育ち
 国府津小 国府津中 西瀬高校 和光大学卒
 小田原市議 3期 12年
 神奈川県議 2期目

神奈川県議会議員

佐々木ナオミ

立憲民主党 神奈川県第17区総支部長

基に情報提供も行う予定です。財政面では災害救助法に基づき支援し、資機材整備も補助金による支援が可能です。



6月9日に小田原市の丸ホールで「ペット同室避難」のイベントも開催いたしました

新たなチャレンジを今

県政を通して、様々な地域課題の解消に尽力してまいりました。さらに国に目を向けると、国民生活や経済、安全保障、気候変動や災害など、さまざまな分野で課題が山積する日本社会において、いま待ったなしの大胆な改革や変化が求められています。これらの課題に取り組むため、チャレンジしてまいります。

お問合せ

立憲民主党こゆるぎクラブ小田原政務事務所
 小田原市南鶴宮3-6-13 天野ビル1F西
 phone.0466-46-6831
 fax. 0465-46-6857
 e-mail.info@naomi-sasaki.com



企画・制作 佐々木ナオミ後援会 チームナオミ

小田原市国府津 森戸川護岸 再び崩落 激甚化する災害対策に国の予算増加が必須



8月の台風10号接近による豪雨で、国府津の森戸川の第一森戸橋下流の護岸が崩落し、直後に現場を視察に向かいました。森戸川の護岸は70年近い老朽化したもので、以前、崩落した護岸の改修工事中に豪雨に見舞われ、さらなる崩落から川沿いの家屋が損壊しかねない状況に陥った経緯があります。豪雨が長引くことが予想される中で、近隣住民からの不安のお声を受け、小田原土木事務所へ早急な対応を要請しました。土嚢で対処したものの、再度崩落し、最終的にはコンクリートの吹付けによる固定処理となりました。夜を徹しての作業にあたられた建設業者の皆さまに、頭の下がる思いです。

こうした災害時に、安全な状況をつくることは行政の大きな役割ではありますが、行政も、また建設事業者も、限られたマン

パワーの中で、各地での土砂崩れや河川の氾濫にも同時進行かつ迅速に対応しなければなりません。9月に開かれた地域住民説明会にも参加させていただき、住民の不安も大きい一方で、対策を取るべき現場の人手や県の予算も十分ではない現状が浮き彫りになりました。

近年の激甚化する災害の状況下、少しでも減災の方向に進めるためには、国の予算の増加が必須であることを引き続き訴えていきます。

6月議会で「ペット同室避難」に関する質問主意書を提出!

Q 大規模災害時にペット同伴の避難が課題となっています。国のガイドラインに基づき、いくつかの自治体では同行避難やペットの受け入れ体制を整えています。ペットと飼主が離れることが避難を妨げるケースが増えています。石川県珠洲市などではペット同室避難が導入され、訓練も行われています。広域自治体である県として、同室避難の推進や専門家との協力、市町村への財政支援などについて積極的に取り組むべきと考えますが、知事の見解は?

A 国のガイドラインに基づき、ペット同行避難が推奨されており、避難所での同室避難も飼主の健康に良い効果があるとされています。しかし、動物が苦手な方やアレルギーの配慮も必要です。県は市町村に対し、同行避難のルール作りや訓練支援、民間企業との協定を進めており、能登半島地震での経験を